





失礼します
ホーク様



後は…

鎧、よし
マント、よし…

もう朝礼の時間です
準備はできましたか？



騎士団副団長
ミハル



王国騎士団長
ホーク

ガチャ

何!?もう
そんな時間か?

後2分で
始まります

つまズイ!

今日は戦前の
大事な朝礼だ
遅れるワケには
いかん

先に行くぞ!

何て速さ...

というか今...

諸君

明日は来たるべき
決戦の日だ

あのバカ団長...!



何度も我が国に
攻めてきた魔物たち…

今までは出所が
分からず
防戦一方だったが…

この度遂に
副団長が本拠地を
突き止めた！



明日は全戦力で
攻め込みこの国に
平穩をもたらす！

ホーク様
さすが頼もしい！

皆ついてきてくれるな！

百戦錬磨の
ホーク様がいれば
絶対負けないぜ！





団長、
しっかりしてくれよ

もう！決戦の前に
そんなバカ晒して
士気に関わったら
どうするんですか！



うっかり
してたな☆



ああ、突如現れた上に
あのクールさ……
当初は嫌われたモン
だが……

持ち前の頭の良さと
魔力の高さで
あつと言う間に
団長の右腕に上り詰め
ちまった



ミハルさんって
2年前に突如
現れた志願兵だっけ？





ハハハ
そうだな
俺の右腕が魔物に
負けるはずがない

当たり前でしょう
私が魔物に
やられると
でも？



さあ着替え終わったら
訓練の再開です

それから明日の戦いの
作戦の最終確認
武器備品の確認

それから

ズンズン

ズン

え、そんなに
仕事あったか…？



ガ
キ





ミラーアイ

後はこれを
夜の内に仲間^{魔物}に
渡すだけ：



作戦を全て伝え
不意をつけば
人間どもは簡単に混乱

下等な人間共と馴れ合うのは
苦勞したがようやく
副団長に上り詰めた

魔王様にスパイを命じられ
人間に扮し敵軍に入り2年

そしてー



ミハルさん
作業手伝い
ましようか？

…ああ
すまないな



人類最強と言われる
ホークを後ろから討てば
人類の敗北は確実！



大丈夫ですよ
ミハルさん
団長は最強っす
から

危ない
ミハルッ！

さすがだミハル
お前なら安心して
背中を預けられる



フン
下らない

人間など皆
滅びるべきだ！



早く行って戻らないと
怪しまれてしまう

グ
グ
グ



待っていてください
魔王様

ミハルは明白
戻ります！



ク
ク
ク

ク
ク
ク





ミハル

私は何故コイツに抱えられている!?



何が起こった?

?????



いや、少し城内の見回りでもと

あんな場所から飛び降りて?



こんな夜更けにどこへ行くつもりだ?



普段隠してる耳まで出してか?



最初…!?
入団試験の時から!?



ふむ
いつからと
言うとは…

最初から、だな



いつから
気づいていた



現にお前は俺の右腕として
よく働いてくれたしな

ミハルの正体が魔物というのは
分かってはいたが
俺が見張り、側に置けば
問題ないと判断した

今
お前を殺し



敵だと分かっているしながら
ワザと近くに置き背中まで
預けていただと…



舐めやがって…!!

魔王様の元へ
戻る!









何故すぐに
殺さない

私は情報など
死んでも
吐かぬぞ！



拷問など
しない

単刀直入に
言おう



俺はお前が好きだ

ずっと俺の元に
いてくれないか



…そうか



何をする！

お前がそういう
態度ならば
身体に分からせる
しかないだろう？

辱めて心から
落とす作戦か

生娘扱いで
私が折れると
でも…？

つくづく
舐めたやつだ…！
勝手にしろ…！



随分感度がいいな？

っ 黙れ…!!

本当に初めてか？





何をさらっと
怖い事言ってるん
ですか

人類最強が言う
洒落にならない
でしょう…!!



良かった
もし経験が
あると言ったら

可愛い部下たちを
一人ずつ尋問する
ところだったぞ

お前は気が
あついな



いつものお小言が
戻ってきたな

それでこそ
俺のミハルだ





舌がツ♡
絡みついて♡
頭おかしくなる♡



もつと
気持ちよく
なろうな…♡



どうしてコレだけの
刺激で…ツ
性器がこんな
反応してしまうんだ…ツ♡



これがホークの
性器：
なんて大きさを



挿いる様に
ゆっくり慣らして
いこうな♡

いきなり挿入なんて
事はしない





よしよし
緩くなった
イイ子だな

チンチンの裏
ダメエ♡

ダメっ♡
キモチイイっ♡

ミハルは
猫みたいで
カワイイな♡





少々慣らしが不安だが…

コレが今からお前に入るぞ？
目に焼きつけておけ

グ
スト
スト

何だこの大きさはまるでオークのような…ッ♡

これが本当に人間のオスの性器か？



魔物の世界では力が全て—
雄の象徴として性器が大きい程崇められる

圧倒的な雄としての差を見せられミハルは陥落しそうになっていた

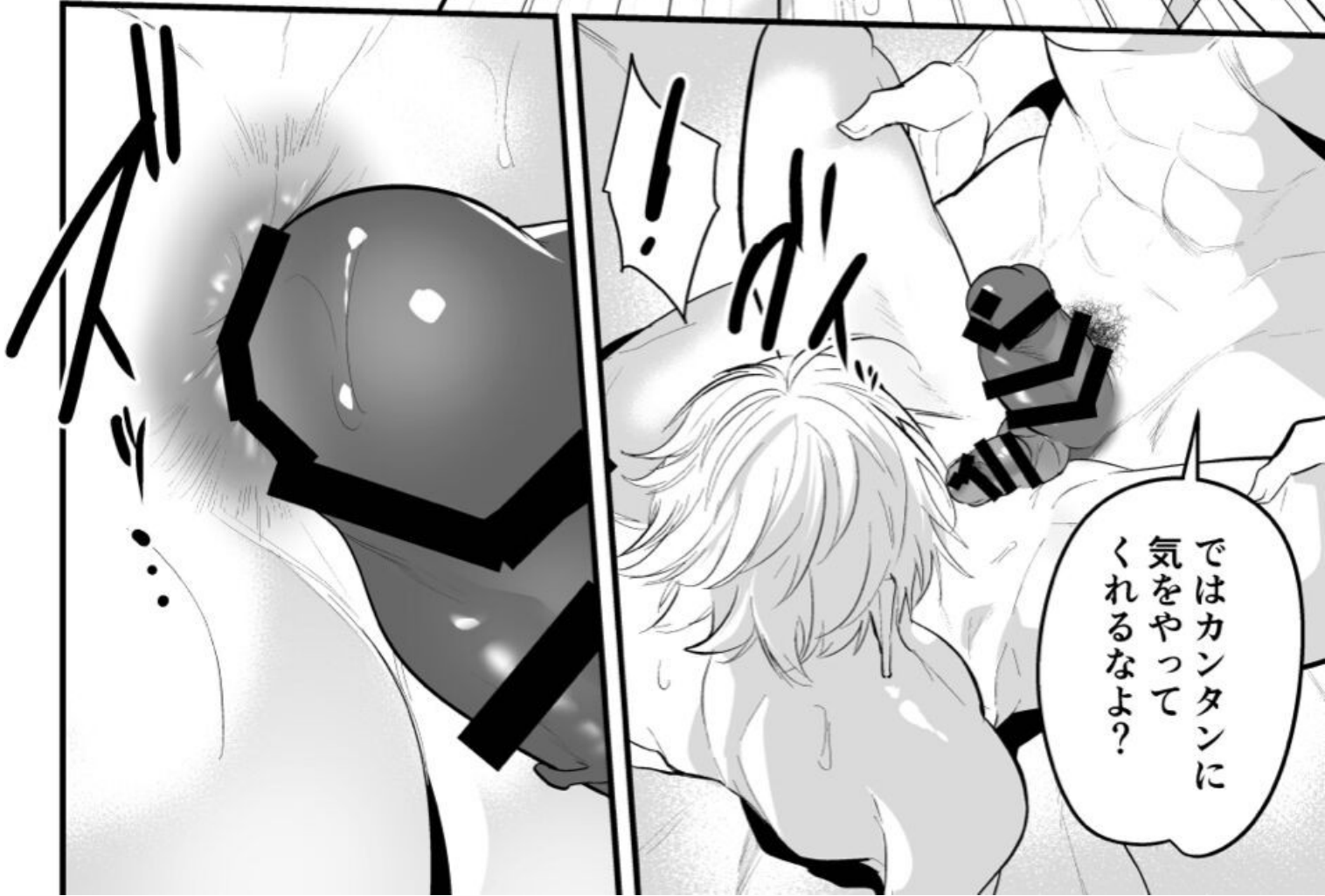
こ、こんなもの挿入られたらっメスになってしまう…っ♡



ほお…

魔王様の方が
数倍立派だ！

ハッそんな粗末なモノで
俺を墮とせるなど
思いあげるなっ！



ではカンタンに
気をやって
くれるなよ？





待つへ
深い

ハッ

ハッ

ハッ



まよ
ハッ

どうした？
まだ半分も
入ってないぞ

こんないっぱいなのに
まだ半分も…っ？

もおムリイ…♡



さっきは
イジワルして
しまったがー

一緒に気持ちよく
なろうな
ミハル

ホーク、
様あ…♡

トク♡



チンポも弄って
気持ちよくなるうな♡



少し体勢を
変えるぞ





これで一番
奥まで繋がれるな



この体勢は
マズイ♡
こんな体勢で
種付けされたら……ッ





中に出すぞ
受け止める…ッ！





ホラー一発目だ♡



失うと分かっているモノに
情をかけるなど…
できない!!

人間では魔王様には
勝てない!



私は…っ
お前のモノには
ならない…!!



まだ意地を
張って…



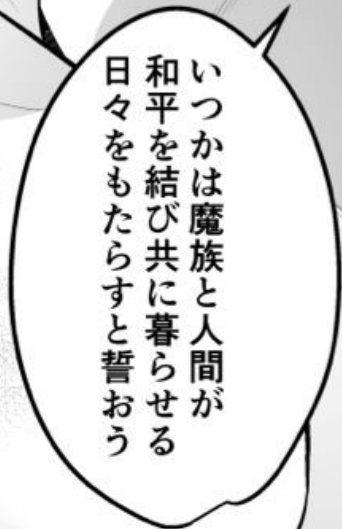
これで分かって
くれたか?
俺の気持ち



お前も失うのが
怖かったんだな



大丈夫だ
俺は負けないし死なない



いつかは魔族と人間が
和平を結び共に暮らせる
日々をもたらすと誓おう



奥ツ
届いての♡
結腸キちゅじ♡



よく感じる
今ここまで
届いているぞ



ミハルは
あなたのメスに
なると誓います…♡

ミハル…!!

ミハル…っ!

あん♡

だからもっと
いっぱい種付けして
ください…♡

トロ♡



俺はミハルを
娶りたい!!

つまり俺達は
ゆくゆくは親戚同士!
平和の為
和平を結ぼう!

ふざけてんじやネエぞ
人間風情がああ!

なら力で
分かせてみるやアアア

俺はたのむ!

いいだろう...!
俺が勝ったら
話を聞いてもらうぞ!

無事勝って
交渉の機会を
取りつけて来たぞ!

やっぱり
脳筋バカだった——